

政策課題解決への視点の 検証ならびに、H27年度アクションプ ラン審議過程の検証について

平成26年12月26日

環境WG事務局

政策課題解決への視点とH27AP審査過程の検証について

- ◆ 昨年度、環境WGにおいてとりまとめた「今後さらに取り組むべき課題」が、どのように総合戦略2014に反映（p3）され、H27APとして誘導されたかを示します（p4）。
- ◆ 本日は、p4の赤枠で示す、H27APとして誘導できなかった政策課題解決における産業競争力強化策を対象にその原因分析を進め、それぞれが分野横断技術として実現すべき政策課題への貢献を、より実効性のあるものとするためにどのような修正を図ればよいか、ご議論をお願いいたします。
- ◆ また、p4の青点線枠で示す、総合戦略2014に反映されなかった「今後さらに取り組むべき課題」についても、今後新たに反映すべきかどうかの精査を同様の切り口でご議論をお願いいたします。
- ◆ あわせて、H27APの審査過程の検証について、参考資料2の「H27AP審査過程の検証」をご覧ください、他にも気づきの点についての議論をお願いいたします。
- ◆ 本日の議論をもとに、とりまとめをし、次回以降さらなる議論を実施する予定です。

総合戦略2014への「今後さらに取り組むべき課題」の反映

◆ H25年度環境WGにおいてとりまとめた「今後さらに取り組むべき課題」は、総合戦略2014第2章第2節「分野横断技術」において以下のとおり反映。

H25年度環境WG 「今後取り組むべき課題」に記載の技術（項目）	総合戦略2014反映内容	
	政策課題解決への視点	コア技術
<ul style="list-style-type: none"> 地球観測情報基盤の整備 地球観測、モニタリング 	持続可能な社会の実現に寄与するモニタリングとその利活用	地球観測衛星等を用いた観測・分析・予測技術
<ul style="list-style-type: none"> 限られた資源でより大きな付加価値を生み出す「資源生産性向上」を下支えする技術（材料の性能評価技術、リサイクルのための材料の選別・分離技術） 	持続的な成長に貢献する資源循環・再生	<ul style="list-style-type: none"> 資源開発や材料プロセスで生じる廃棄物処理技術 材料の評価・選別・分離技術
<ul style="list-style-type: none"> ヒト・生態系、社会経済、地球温暖化のリスクを最小化させる評価技術の開発、その評価手法（環境問題を総合的な観点から評価） 		<ul style="list-style-type: none"> リスクが懸念される化学物質に対する科学的知見に基づく管理・評価手法
<ul style="list-style-type: none"> 資源性や有害性の高い物質を含む製品の管理・回収のための社会システム 		<ul style="list-style-type: none"> 資源性や有害性の高い物質を含む製品の管理・回収
<ul style="list-style-type: none"> ICTを応用した水処理システム 途上国の都市化に伴う生活環境保全 		<ul style="list-style-type: none"> 高度水処理技術

総合戦略2014とH27AP

◆ 「今後さらに取り組むべき課題」のうち、下表の赤枠に示す項目は、総合戦略2014に基づき特定したH27APに包含されていない項目となっており、原因等の分析を進める。

政策課題解決への視点	コア技術	貢献する政策課題	SIP補完/ 新たな先導	新規/ 継続	施策 番号	施策名	今後取り組むべき課題の中で APで対応できている項目	今後取り組むべき課題の中で APで対応できていない項目
持続可能な社会の実現に寄与するモニタリングとその利活用	地球観測衛星等を用いた観測・分析・予測技術	次世代インフラ	新たな先導	継続	環環01	衛星による地球環境観測の強化	・地球観測・モニタリング	・地球観測情報基盤の整備
				継続	環文01	気候変動対応等に向けた地球観測衛星の研究開発		
持続的な成長に貢献する資源循環・再生	資源開発や材料プロセスで生じる廃棄物処理技術					AP提案なし		・限られた資源でより大きな付加価値を生み出す「資源生産性向上」を下支えする技術
	リスクが懸念される化学物質に対する科学的知見に基づく管理・評価手法	次世代インフラ	新たな先導	継続	環環02	水質事故に備えた危機管理・リスク管理の推進	ヒト・生態系、社会経済、地球温暖化のリスクを最小化させる評価技術の開発、その評価手法	・環境問題を総合的な観点から評価 (水環境分野以外の) ヒト・生態系、社会経済、地球温暖化のリスクを最小化させる評価技術の開発、その評価手法)
	材料の評価・選別・分離技術					AP提案なし		・限られた資源でより大きな付加価値を生み出す「資源生産性向上」を下支えする技術
	資源性や有害性の高い物質を含む製品の管理・回収						AP提案なし	・資源性や有害性の高い物質を含む製品の管理・回収のための社会システム
	高度水処理技術					AP提案なし		・ICTを応用した水処理システム ・途上国の都市化に伴う生活環境保全